

2. 日本の成り立ちと倭の王権

原始時代の日本列島

	旧石器時代	縄文時代
日本列島の形	大陸と陸続き…①アムール川などの大型動物を追って大陸から人々が移住 <i>他にアムール川、タタリ川、タタリ川</i>	現在とほぼ同じ
道具	②打製石器	③磨製石器, ④縄文土器
住居	簡単な小屋や洞窟	⑤竪穴住居 <i>どろり土偶</i>

日本の流れ

大陸から稲作が九州北部に伝来 → 東北地方まで広まる

⑥石臼で稲の穂を収穫。共同の⑦高床倉庫や穴蔵に蓄える
湿気と防虫のため

⑧弥生土器…文様が少ない
おもしろい文様がいっぱいあるため

大陸から金属器が伝わる…鉄器と⑨青銅器

⑩倭 (日本) に100余りの国々があったとされる (『漢書』)

1世紀中ごろ、九州北部の支配者の1人が中国へ使いを送り、
「漢委奴国王」と刻まれた⑪印(金印)を授けられる (『後漢書』)

3世紀中ごろ、⑫邪馬台国の女王⑬卑弥呼が、中国の魏に朝貢
→ 中国の⑭魏志倭人伝に記述 *親魏倭王、金印を賜り*

3世紀後半、近畿から瀬戸内海沿岸を中心に、⑮古墳とよばれる豪族の墓がつくられる

大仙古墳などの⑯前方後円墳
⑰埴輪が墳丘の上に置かれた

⑱天皇を中心として、近畿地方の有力な豪族の連合の⑲大和政権が成立
倭の王の地位を認めたいため

中国の⑳南朝に使い (5世紀) *倭の王の地位を認めたいため*
⑳渡来人の来日 *当時中国は北朝と南朝に分かれていた*

土木工事、金属加工、
絹織物、須恵器などの技術
⑳漢字、儒教、仏教
などの文化

⑳高句麗
㉑百濟
㉒新羅

伽耶(加羅)諸国 (日本)